



2022年11月8日

コスモ石油株式会社  
日揮ホールディングス株式会社  
株式会社レポインターナショナル

国内初の国産 SAF の大規模生産の実現に向けた  
新会社「合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY」の設立について

コスモ石油株式会社（代表取締役社長：鈴木 康公、以下「コスモ石油」）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長 CEO：佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レポインターナショナル（代表取締役：越川 哲也、以下「レポインターナショナル」）の3社は、廃食用油を原料とした国産 SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）の製造や供給事業（以下「本事業」）を行うために、本年11月1日付で新会社「合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY」を設立したことをお知らせします。

3社は、国内での廃食用油の収集から SAF の製造、輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて、2020年夏から共同で事業化検討を進めてきました。今回設立する新会社は、国内初となる国産 SAF の大規模生産を目指し、100%廃食用油を原料とした年間約3万キロリットルの SAF の国内供給を実施します。SAF 生産設備は、大阪府堺市のコスモ石油堺製油所内に2023年夏を目途に着工し、2024年内に完工、2024年度下期～2025年度初での運転開始を予定しています。本設備からはバイオプラスチックの原料となるバイオナフサや、バイオディーゼルも生産されます。

なお、本事業は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）より採択\*を受けた助成事業であり、原料調達をレポインターナショナル及び日揮 HD、SAF 製造及び需要家への販売をコスモエネルギーグループ（コスモ石油並びにコスモ石油マーケティング株式会社）が担い、各社の知見・ノウハウを結集して安全・安定の燃料サプライチェーンを構築してまいります。また、SAF 製造設備に係る設計・調達・建設役務については日揮株式会社が担います。

\*NEDO ホームページ：[https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3\\_100312.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html)

新会社概要

会社名 （出資比率）	合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（サファイア スカイ エナジー） （コスモ石油 48%、日揮 HD：48%、レポインターナショナル 4%）
本社所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1
設立日	2022年11月1日

資本金	1 億円
代表者	秋鹿 正敬（日揮 HD 常務執行役員）
事業内容	国産廃食用油を原料とする SAF、バイオナフサ、バイオディーゼルの製造および販売

#### プラント概要

建設予定地	大阪府堺市西区築港新町 （コスモ石油 堺製油所内）
SAF 製造能力	約 3 万キロリットル/年
原料	国産廃食用油
プラント運転開始予定	2024 年度下期～2025 年度初



建設予定地

新会社社名にある“SAFFAIRE”は、宝石のサファイア（Sapphire）と SAF をかけた造語です。サファイアの持つ深みのある青はゆるぎない心の象徴とされ、空の脱炭素化を実現するという我々の強い意志を表しています。さらに、サファイアの語源ともなっている「青色」に SKY ENERGY を組み合わせることで、SAF という次世代エネルギーにより「未来もずっと青空が続くように」という願いを込めました。

コスモ石油、日揮 HD、レポインターナショナルは本年 3 月 2 日に設立された、国産 SAF の導入、普及・拡大を目指す有志団体 ACT FOR SKY に発足時より加盟しております。本新会社の設立は国産 SAF の導入、普及・拡大という ACT FOR SKY の掲げる目標を実現させる為の大きな一歩になると考えております。

本新会社は ACT FOR SKY の運営委員長も務める西村勇毅（日揮 HD サステナビリティ協創部）が中心となって、国産 SAF の機運を醸成し、市民・企業の意識変革を通じて行動変容に繋げること



により国内初となる商用規模での国産 SAF 供給体制の実現に取り組んで参ります。

今後3社は、新会社設立を通じて、SAFのサプライチェーン構築に向けた事業開発を一層加速させるとともに、大阪・関西万博の開催によってSDGsについて世界からの関心がさらに高まる2025年に国産SAFを供給できる体制を整えていく所存です。併せて、持続可能な循環型社会の形成を目指してまいります。

## 【各社情報】

### 日揮ホールディングス株式会社について

日揮HDは、企業グループとして取り組むべき重要課題（マテリアリティ）として「環境調和型社会」の実現を挙げ、環境負荷の少ないLNG（液化天然ガス）プラントや、バイオマス発電、太陽光発電設備等の再生可能エネルギープラントの建設、マイクロプラスチック代替素材やHV/EV向け放熱伝導窒化ケイ素基板等の機能材製造、水素エネルギー（CO<sub>2</sub>フリーアンモニア）や廃プラスチックのケミカルリサイクル等の環境関連技術の早期ビジネス化等に注力しております。また、日揮グループの国内EPC事業会社である日揮株式会社はエンジニアリング企業として、国内でエネルギー・一般産業分野等で多数のプラント・施設を建設してきた実績を有します。

ホームページ <https://www.jgc.com/jp/>

### コスモ石油株式会社について

コスモ石油が所属するコスモエネルギーグループは、日々の生活に欠かせないエネルギーを、安全・安定的に供給し続ける公共的な使命を担う企業として、グループの主力事業である石油事業、石油化学事業に加え、長期的な環境変化を見据え再生可能エネルギー事業を展開しております。

グループ理念に「地球と人間と社会の調和と共生」を掲げる当社グループは、第6次連結中期経営計画『Oil & New』のもと、自社の強みを生かし、SS（サービスステーション）ネットワークを活用した次世代モビリティ社会に向けた取り組みや、環境にやさしい電力の販売、風力発電事業を中心としたクリーンエネルギーの拡大等を進めております。本事業を含むこれらの取り組みを通じて、2050年度のカーボンネットゼロを実現するとともに、社会課題の解決と持続可能な社会の実現を目指してまいります。

ホームページ <https://www.cosmo-oil.co.jp/>

### 株式会社レポインターナショナルについて

レポインターナショナルは、全国での使用済み食用油の引取ネットワークを構築し、自社開発の製造プロセスにより京都市を始めとし、長年に亘り国内外にバイオディーゼル燃料の製造販売を行い、原料調達・技術開発・製造販売の自社一貫体制を確立し、日本初の品質規格策定協力等、バイオ燃料のバイオニア企業として随一の実績を築いてきました。

今後、更に使用済み食用油の引取ネットワークを拡充すると共に新たな原料油脂の調達も本格化させ、本事業においては、国内需要の創出を図り、バイオマス循環資源としての国内利用を拡大し、炭素源循環・地域循環共生圏の構築に取り組んでまいります。

ホームページ <http://www.e-revo.jp/>